

わたしの「三重 23 号」PR シート

| | |
|-------------------|---|
| 氏名 | 稲森 宣裕 |
| 組織名 | |
| 住所 | 伊賀市 |
| 経営面積 (三重 23 号) | 水稲 10 ha、小麦 3.8 ha、大豆 4 ha 肉牛 70 頭 (三重 23 号 : 1.21 ha) |

| | |
|-----------------------|---|
| 1 現在の三重 23 号の状況 | 写真を貼ってください |
| |  |
| | 5 月上旬に移植後、順調に生育し 7 月 27 日に出穂。現在は、穂揃期を過ぎ、少しずつ登塾が進んでいる状況。 |
| 2 栽培し始めてから、これまでで思ったこと | <p>困ったこと、気になることは？</p> <p>土作りの一環として牛糞を利用しているので、収穫物のタンパク質含量が 6.8%を超えないかが一番気になるところ。また、豆跡に移植した場合の施肥設計など栽培方法について今後検討の余地があると思います。</p> |
| | <p>うれしかったこと、発見したことは？</p> <p>葉色が濃い割には草丈が伸びず、倒伏の心配がないと思われること。作りやすい品種だと思います。</p> |

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>3 あなたのお米を食べる消費者の方に伝えたいこと</p> | <p>こんな地域でお米をつくっています（アピールしたいこと） 例：自然、気候・風土、歴史・文化、水源、生き物、風景...</p> <p>伊賀地域は、伊賀流忍者、俳聖松尾芭蕉のふるさと、吉田兼好ゆかりの地として知られ、様々な歴史文化を有する地域です。このような地域資源を活かした農業活動を実施できる他、気候風土としても、昼夜温の較差があり、重粘土壌であることから、良食味米を栽培する上では最適の地域だと思えます。</p> |
| | <p>こんな風にこだわってお米をつくっています（アピールしたいこと） 例：毎日足を運んで稲の様子を見に行ってます、土のつくり方、水の管理の仕方、肥料のやり方...</p> <p>水稻栽培の他に、肉牛の飼育を行っていることもあり、水稻収穫後の稲藁を収集し、肉牛の飼料として利用しています。その後、堆肥を自家生産し、できた堆肥を全圃場で施用することにより、高品質米生産に向けた土づくりを徹底しています。安心・安全で環境にやさしい循環型農業を自ら実践しています。</p> <p>また、溝きりや畦塗りなどを含めた水管理や畦畔の管理なども徹底しており、自らの圃場だけでなく地域のことも考慮した米作りを行っています。</p> |
| | <p>こんな思いでお米をつくっています（アピールしたいこと）</p> <p>畜産経営も担っているという利点を活かし、自ら耕畜連携を図っている他、土壌改良材の利用など食味向上に向けて日々努力しています。</p> <p>消費者の方に安心・安全で美味しい「伊賀米」を食べていただきたいという思いが一番です。</p> |